

アグリビジネス有機農法

有機産業・鈴木牧場とは



株式会社BCM
株式会社有機・産業

株式会社株式会社有機産業とは

会社名 株式会社有機産業
代表者 鈴木一良 (すずき かずよし)
所在地 〒437-1605
静岡県御前崎市下朝比奈153-106
電話 0537-87-2477
F A X 0537-87-2464
URL <http://www.yu-ki-sangyo.co.jp/>
MAIL kk-yuuki@maotv.ne.jp
営業品目 畜産環境機械販売
有機質肥料・飼料・堆肥製造・販売
野菜の生産・販売
規模
大玉トマト 50a
ミニトマト 50a
ねぎ (白ねぎ) 5ha
サツマイモ
お茶
ごぼう 30ha など
資本金 1,000万円
設立年月日 昭和63年12月



牧之原
台 地

社名 鈴木牧場
代表者 鈴木雅樹 (すずき まさき)
所在地 〒437-1605
静岡県御前崎市下朝比奈153-106
電話 0537-87-2477
F A X 0537-87-2464
経営内容 肉牛 (黒毛和種) 700頭
主な商品 肉牛 (黒毛和種)
従業員数 8名
設立 1988年

御前崎港



株式会社株式会社有機産業とは

株式会社有機・産業は、「鈴木牧場」の有機肥料生産部門を分離する形で**1988年**設立

30年以上にわたって研究や改良を重ねて完成させた、鈴木牧場で育てている肥育牛（黒毛和種）**700頭**の牛糞と土壌改良システムで製造された堆肥の独自の発酵技術で製造した有機肥料は、野菜、果物、茶園やハウス栽培などに利用されています。また、有機産業でも有機野菜の生産をおこなっており、大手スーパーで直接販売しています。

こうした畜産糞尿→堆肥生産→堆肥による土づくり→安心安全な野菜生産→野菜残渣の堆肥化という「**環境にやさしい資源循環型農業**」を進めています。

これまでの有機産業の事業実績から、全国の堆肥化処理に困っている畜産農家や地元で農産物価格の低迷、燃油価格の高騰等で困っている畜産農家や園芸農家等へのアドバイスさせていただいています。

良質堆肥の生産から、堆肥投入やミネラルバランスを考えた施肥、農薬使用を低減した野菜栽培など、自然に逆らわない、農業、畜産業の垣根を越えた**循環農業の構築を目指しています**。

堆肥製造要機械装置の製造販売をしています。

堆肥製造機械では、スクリーバランサーやワイドクラッシャーなどの粉碎機、混練機のリサイクルトップ、発酵乾燥機のホットクリーンを販売しています。機器によって、特殊ジェルを応用してランニングコストを抑えたり、**独自の活性剤（活性源）**で異臭を減らしたり、微生物を活性化させて発酵を促進させたりと作業の効率化が図られています。

本年度よりグルメアクションのシステムアップを**竹粉乳酸菌発酵製造技術を開発**し九州地区にグルメアクション製造工場設備を導入し**グルメアクションタケパワーの製造販売を開始**します。

肥育技術の変化と成果

平成9年に開催された「**和牛のオリンピック**」「**第7回全国和牛能力共進会**」で、全国一となる最高位の**内閣総理大臣賞と農林水産大臣賞をダブル受賞**という快挙を皮切りに、県内外の共進会では常に上位入賞を果たしています。

平成19年で全国平均を上回る成績を上げ肉質も向上し**平成25年の上物率は99%A5ランクが82%**とトップレベルの実績を残し**技術力は静岡県肉牛共進会で平成22年から3年連続農林水産大臣賞**をまた**近畿東海北陸連合肉牛共進会でも3年連続最優秀賞受賞**する高い評価を得ている。



株式会社株式会社有機産業とは

山形県酒田市本社**平田牧場**は食肉の生産から販売まで手がけている同牧場は、**金華豚**と代名詞の**三元豚**は、近年評判の豚肉です。

平田牧場は、1990年代半ばに有機産業が開発した堆肥の製造機（**ホットクリーン**）を導入、また、混合飼料（**グルメアクション**）も購入。現在も継続中。餌に対して0.3%混ぜて豚に与えている。

(株)花園たまや 令和6年度埼玉農業大賞の受賞

優秀賞 株式会社花園たまや（深谷市）

雛から自社で育て、パック詰めまで一連の作業工程を自社完結させる効率的な生産体制を確立した。新たに**鶏ふん発酵機（ホットクリーン）を導入** **グルメアクションも自社の鶏に投与。堆肥の製造・販売を開始**し、未利用資源の地域内循環を図り、周辺農家の経営コスト低減にも貢献している。

公益法人 **中央畜産会** 平成28年3月に畜産環境対策の事例集

畜産環境対策の事例集 **こだわりの堆肥づくり堆肥のマッチング、臭気・污水対策**で紹介されている。

株式会社有機・産業は、**有機農法（農業）の推進とウイルス性感染症撲滅**を目指し農業者に貢献していきます。

事業の継続性や発展性

国による「**有機農業の推進に関する基本的な方針**」や「**みどりの食糧システム戦略**」による助成事業や有機農法の普及が加速されそのことにより有機産業が取り組む事業の成果が独自技術による持続可能なスマート農業事業による農業振興を目指すこととなる。

株式会社すずき牧場とは

社名 鈴木牧場
代表者 鈴木雅樹（すずきまさき）
所在地 〒437-1605
静岡県御前崎市下朝比奈153-106
電話 0537-87-2477
F A X 0537-87-2464
経営内容 肉牛（黒毛和種）700頭
主な商品 肉牛（黒毛和種）
従業員数 8名
設立 1988年

牧之原台地から望む茶畑と駿河湾

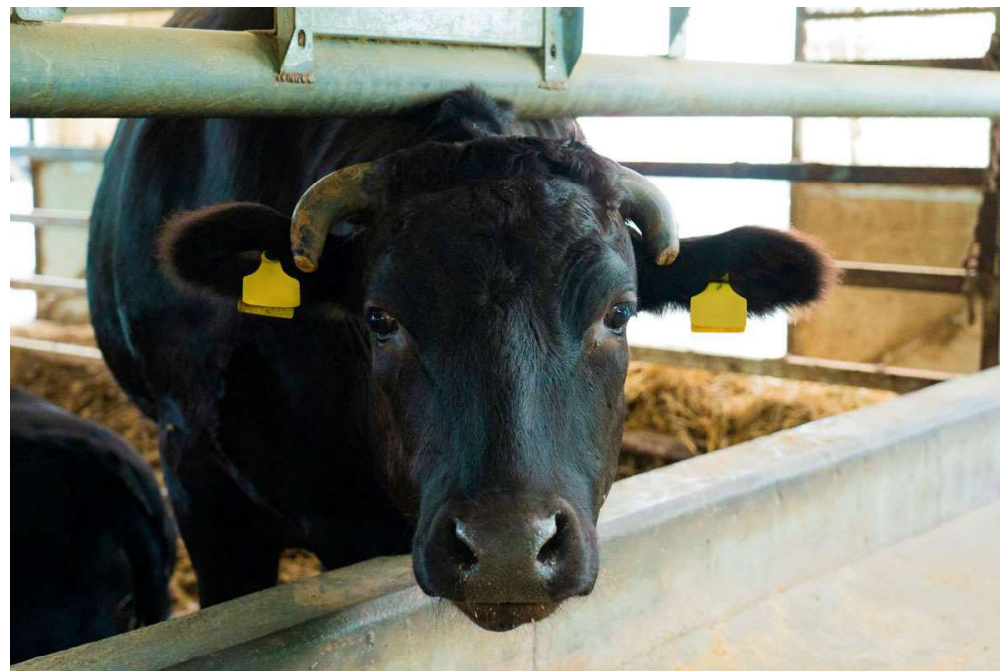


株式会社すずき牧場

株式会社すずき牧場とは

静岡県で大規模な牧場経営（飼育は多い時でなんと700頭オーバー！）をされ「しずおか和牛」を年間130頭程を出荷している、

すずき牧場は静岡県の中西部、日本で最大規模の茶産地である牧之原台地の端にあり、その高低差から夏は風通しもよく気温が2～3度は低いから、牛たちにとってとても過ごしやすい場所に位置している。



牛舎を覗くと牛たちがとてもリラックスしている。ちょっと近づくと目をキラキラと輝かせながら興味深そうにこちらに近づいてくる。初めて出会う人間に対してここまで興味を持ってくれるのだから、普段から大変な愛情を持って育てられているのが良く分かる



牛舎内に設置された扇風機で定期的にミストを噴射して拡散させている

すずき牧場では牛舎全体の温度が上がらないように屋根には水を流し牛舎内には横貫扇風機を設置、定期的にミストを流しながら気化熱を発生させ牛たちの身体を冷やしているのだそうだ。確かに、外気に比べて牛舎の中は驚くほど涼しく快適である。鈴木社長は「この10年で扇風機を2倍に増やしました」とおっしゃっていたが、やはりこの頭数を管理し飼育するという苦労は想像を絶する苦労がありそうだ。



他の和牛ブランドが数十年の歴史を誇る中「しずおか和牛」はまだ発足して数年であるので、認知力の向上は今後、協会を含めしっかりと取り組んでゆきたい。また、畜産に携わるのは大変な仕事である。農業や生産業の後継者問題と同じ様に、和牛の畜産家が減り続けている中、これだけの牛肉の質を維持するのは大変である。だからこそ、静岡県の和牛統一ブランドとして、まずは県内で認知、そして消費し価値を高めていくことが大事なのではと。

すずき牧場が出荷している「しずおか和牛」は、これからも鈴木社長によって改良し続けられ、素晴らしい牛肉として一般にも認知されていく事だろう。手間ひまかけられたこの牛肉、是非沢山の方に味わって頂きたいと思う。

舌の上でとろける極上の脂身！ 内閣総理大臣賞と農林水産大臣賞をダブル受賞した 静岡県の「遠州夢咲牛」

鈴木雅樹さんが営む「（株）すずき牧場」は静岡県御前崎市の海にも近い山間に位置します。この地域は冬はあまり寒くならず、夏は海風が吹いて涼しくなります。そんなおだやかな気候の中で育てているのが「遠州夢咲牛」という黒毛和種です。

1997年、静岡県の和牛生産技術が全国的にどのくらいのレベルにあるのか判断するため、柳澤重夫さん（現御前崎市長）が岩手県で開催された「第7回全国和牛能力共進会」に県として初出品。みごと、内閣総理大臣賞と農林水産大臣賞をダブルで受賞という快挙を達成しました。

それをきっかけにさらなる品質向上に努め、2002年、「遠州夢咲牛」を正式に商標登録しました。

現在、遠州夢咲肉牛委員会の会員は6軒。そのうちの1軒が（株）すずき牧場です。鈴木さんを含めて7名のスタッフが働き、約730頭の牛を飼育しています。

「遠州夢咲牛」という名前は、生産者が所属する「遠州夢咲」という農協名から誕生しました。この農協の名前は一般公募で決まったものです。

遠州夢咲牛のいちばんの特徴は脂身ににあります。うまみが濃厚でありながらあっさりしていて、舌の上でスッと雪のように溶けるのです。いったいどのように牛を育てればこのように極上の脂身が作られるのでしょうか？

（株）すずき牧場の仕事はここで毎朝7時半から始まります。まずは餌槽（牛が餌を食べるための皿）をきれいに洗い、次にワラやブレンド飼料を与えます。牛が一度口に含んで濡れていたり、汚れていたりするものはきれいに取り除いて、できるだけ無駄なく餌を食べさせるようにします。

牛は約5頭ずつ柵に入られています。それぞれの柵の前には表が掲示され、そこに数字が細かく書き込まれていました。「これは飼料のマニュアルです。牛を仕入れた日でグループに分け、マニュアルに沿って飼養管理します」

チモシー、バガス、大豆などのブレンド飼料やワラをマニュアルの日程通りに決められた分量を与えていきます。それぞれの飼料に異なる効果があり、たとえば、サトウキビを原料にしたバガスには牛の胃を健康にする効果があります。

「くさい牛舎からうまい牛肉は生まれない」をモットーに、黒毛和牛「遠州夢咲牛」約700頭を飼育しています。当牧場では牛に優しい飼養管理を行い、高品質和牛の安定した生産技術を確立し、肉質が良く、健康な牛を育てています。

遠州夢咲牛とは

2000年、J A 遠州夢咲（菊川市）が立ち上げた黒毛和牛のブランド。生後21ヶ月以上で肉質が「A3」ランク以上の肉を遠州夢咲牛としています。ここ静岡県西部遠州地方の穏やかな気候の中、良質な飼料を与え、徹底した飼養管理を行い、愛情を込めて育てています。

最高品質の肉牛肥育技術を持ちながらも、静岡県の肉牛のブランド力は有名な産地にはまだまだ及びませんので、地域の仲間と共にブランド育成にも力を入れています。

飼料給与方法の統一や独自の品質基準を設け、仲間同士切磋琢磨して技術向上に努め、首都圏での販売促進活動等により、ブランド力の向上を図っています。

社名 鈴木牧場

代表者 鈴木雅樹（すずきまさき）

所在地 〒437-1605

静岡県御前崎市下朝比奈153-106

電話 0537-87-2477

F A X 0537-87-2464

経営内容 肉牛（黒毛和種）700頭

主な商品 肉牛（黒毛和種）

従業員数 8名

設立 1988年



株式会社すずき牧場とは

平成25年肥育牛の出荷成績

出荷頭数			1頭当たり 枝肉重量		脂肪 交雑	肉質等級 (5段階評価)		
去勢 (頭)	雌 (頭)	全体 (頭)	去勢 (kg)	雌 (kg)	BMS 12段階	等級別割合(%)		
						5	4	3
128	265	396	541	481	9.4	82.3	16.4	1.3

【上物率 98.7%】

- 平成22年度 第57回近畿東海北陸連合肉牛共進会 県知事賞
- 平成22年度 第84回静岡県畜産共進会 農林水産大臣賞
- 平成23年度 第58回近畿東海北陸連合肉牛共進会 県知事賞
- 平成23年度 第85回静岡県畜産共進会 農林水産大臣賞
- 平成24年度 第59回近畿東海北陸連合肉牛共進会 県知事賞
- 平成24年度 第86回静岡県畜産共進会 農林水産大臣賞
- 平成26年度 第63回全国農業コンクール名誉賞

【肉牛肥育の成果】

	肥育頭数 全体(頭)	1頭当たりの 枝肉重量(kg)	出荷月齢 (月)	上物率 (A5・A4ランク%)	うち A5ランク
鈴木牧場	700頭	511kg	28月	99%	82%
全国平均	43頭	442kg	29月	55%	20%
比較	+657頭	+69kg	-1月	+44%	+62%
成果	大規模	発育良好		高品質	

※遠州夢咲牛は共進会等で、ほぼ毎年最優秀賞を受賞しています。
 ※現在、取り扱い店舗も県内72店（市内31店、市外41店）、
 県外6店（神奈川2店、愛知4店）と拡大しています。

1頭1頭大切に



ストレスを与えない飼育密度や快適な牛舎環境など、快適で健康に過ごせる肥育環境を実現すると共に、肥育管理のマニュアル化、独自システムによる徹底したデータ管理を行い、丹精込めて愛情込めて育てています。

鈴木牧場で生産している夢咲牛

1頭1頭大切に黒毛和牛のブランド・遠州夢咲牛を飼育



ストレスを与えない飼育密度や快適な牛舎環境など、快適で健康に過ごせる肥育環境を実現すると共に、独自システムによる徹底したデータ管理を行い、丹精込めて愛情込めて育てています。

平成25年肥育牛の出荷成績

出荷頭数			1頭当たり 枝肉重量		脂肪 交雑	肉質等級 (5段階評価)		
去勢 (頭)	雌 (頭)	全体 (頭)	去勢 (kg)	雌 (kg)	BMS 12段階	等級別割合(%)		
						5	4	3
128	265	396	541	481	9.4	82.3	16.4	1.3

【上物率 98.7%】

【肉牛肥育の成果】

	肥育頭数 全体(頭)	1頭当たりの 枝肉重量(kg)	出荷月齢 (月)	上物率 (A5・A4ランク%)	うち A5ランク
鈴木牧場	700頭	511kg	28月	99%	82%
全国平均	43頭	442kg	29月	55%	20%
比較	+657頭	+69kg	-1月	+44%	+62%
成果	大規模	発育良好		高品質	



地域とともにブランド育成 ～夢咲牛の取組～

- JA遠州夢咲を通じた出荷
- 平成14年に「遠州夢咲牛」として商標登録
- 飼料給与を統一
- 独自の品質基準で仲間と切磋琢磨



鈴木牧場

株式会社有機産業とは

●平成28年度	●平成27年度	●平成24年度	●平成23年度	●平成22年度	●平成19年度	●平成18年度	●平成17年度	●平成17年度	●平成15年度	●平成14年度	●平成14年度	●平成12年度	●平成11年度	●平成10年度	●平成9年度	●平成8年度	●平成7年度	●平成5年度	●平成9年度	●農林水産大臣賞受賞	●内閣総理大臣賞受賞
第90回静岡県畜産共進会	第89回静岡県畜産共進会	第86回静岡県畜産共進会	第85回静岡県畜産共進会	第84回静岡県畜産共進会	第81回静岡県畜産共進会	第80回静岡県畜産共進会	第52回近畿東海北陸肉牛共進会	第79回静岡県畜産共進会	第77回静岡県畜産共進会	第76回静岡県畜産共進会	第49回近畿東海北陸肉牛共進会	第37回関東地区肉用牛枝肉共励会	第74回静岡県畜産共進会	第73回静岡県畜産共進会	第71回静岡県畜産共進会	第7回全国和牛能力共進会	第44回近畿東海北陸肉牛共進会	第69回静岡県畜産共進会	第67回静岡県畜産共進会	第7回全国和牛能力共進会	第7回全国和牛能力共進会

遠州夢咲牛



磐田グランドホテルは遠州夢咲牛の
正規取扱店になりました

お申込み お問合せは

鈴木牧場～技術力の変化～

年度	肥育頭数 全体(頭)	1頭当たりの 枝肉重量(kg)	出荷月齢 (月)	上物率 (A5、A4 ランク%)	うち A5ランク
19	650頭	477kg	28月	65%	20%
25	700頭	511kg	28月	99%	82%
比較	+50頭	+34kg	—	+34%	+62%

●大規模でありながら高品質・高重量を達成

肉牛肥育の成果

	肥育頭数 全体(頭)	1頭当たりの 枝肉重量(kg)	出荷月齢 (月)	上物率 (A5、A4 ランク%)	うち A5ランク
鈴木牧場	700頭	511kg	28月	99%	82%
全国平均	43頭	442kg	29月	55%	20%
比較	+657頭	+69kg	-1月	+44%	+62%
成果	大規模	発育良好		高品質	

- 共進会
成績
(H22-24)
- 「静岡県肉牛共進会」
3年連続最優秀賞、農林水産大臣賞
 - 「近畿東海北陸連合肉牛共進会」
3年連続最優秀賞



沿革 株式会社有機・産業の誕生と歩み

(株) 有機・産業 鈴木一良プロフィール

1947年：静岡県浜岡町に生まれる。

1986年：結婚し、肉牛 13頭、茶園 1.2haの家業を継ぐ➡ 酪農に重点、肉牛 200頭

1975年～石油ショック、バブル景気で飼料の高騰 ➡ 熊本県で「発酵と出会う」 ➡ 鶏糞よりの発酵飼料導入➡

腹張病で肉牛が何頭も死亡 ➡ 啞然と発酵物を眺めていて「塊り」を見つけ割ると中は未発酵 ➡ 篩にかけ塊を除くと発病せず ➡ 以上により、畜糞発酵や堆肥化では：塊を無くすることが必須条件であると確信し、粉碎機を研究開発、最終的にチェーン式スーパークラッシャーを開発、堆肥化、発酵飼料化成功

- 堆肥舎の悪臭防止：堆肥製造に付き物だった悪臭も、この粉碎機の導入で減少したが、更なる減少と発酵の加速を目的に検討【木酢酢+フミン液+2価鉄】で悪臭とハエの防止と高速発酵に成功 ➡ 更に、こうして製造した堆肥を牛舎の敷料にすると床で糞尿の発酵と乾燥が進み、悪臭もハエも無い快適な牛舎(豚舎も)環境を作り出すことに成功、各地にこの技術が広がる。
- 飼料添加材「グルメアクション(色々な飼料原料にミネラルなど添加して発酵)」も開発、自社牧場以外にも最大手養豚場など各所で永年使用されている。更に、自社開発のセラミックで調整した飲料水も牛舎に利用。
- 1,800～1,200頭(F1主体)を黒毛和牛800頭体制に ➡ 経営は全て長男に譲る「近畿東海北陸肉牛共進会(品評会)」で例年トップを続けていた「松阪牛」を抑えてここ3年鈴木牧場が最優秀賞を連覇、静岡県2年連続最優秀賞・農林水産大臣賞を獲得 ➡ A5～A4 95%、A3 5%と非常に低い事故率を維持している。
- 2020年:**ウイルス感染症対策**として鶏、豚、牛等にグルメアクション(飼料)を使用したデータを基に
2022年:**中部大学産官学連携推進室**とウイルス感染症に対する天然素材の作用に関する共同研究の契約を締結し実証実験に取り組んでいる。
- 2024年～グレードアップしたグルメアクションを開発 原料に竹紛、竹炭、バカス炭を使い乳酸発酵等新しい製造方法使い 鹿児島県に製造施設を建設2025年より活動開始する。